

スウェーデン・日本大学連携コンソーシアム「MIRAI」および Seed Funding プロジェクトについて(学内向け資料)

1. MIRAI とは

- ・スウェーデン・日本の 17 大学が参画する、両国の学術交流を推進するコンソーシアム。
- ・2015 年に東京で開催された「第 1 回日本・スウェーデン学長会議」をきっかけに、2017 年に発足。本学は学長会議当時から MIRAI の設立に参画。
- ・第 1 フェーズ (2017-2019)、第 2 フェーズ (2020-2023) を経て、2024 年 1 月から第 3 フェーズが始動。第 3 フェーズから、本学が日本側幹事校に就任。
- ・第 3 フェーズでは SDGs に紐づく次の 4 つの重点分野 (Global Challenges) を設定し、幅広い分野の研究者が参加できるよう設計。
 - 1) Health and an ageing population (UN-SDG #3)
 - 2) Climate adaptation, disaster and risk management and prevention (UN-SDG #13)
 - 3) Resilient cities and communities (UN-SDG #11)
 - 4) Materials for energy conversion and storage (UN-SDG #7)
- ・2020 年に開設した「九州大学ストックホルム・リエゾンオフィス」(欧州拠点) を本学におけるスウェーデンの現地窓口とし、学内のスムーズな調整を実施。

【MIRAI ウェブサイト】 <http://www.mirai.nu/>

2. Seed Funding プロジェクトについて(概要)

詳細は別紙「STINT Financed Seed Funding MIRAI 2024-2026」を参照。

- ・日本とスウェーデンそれぞれから助成金を拠出したマッチングファンド。
- ・最低、日本とスウェーデンそれぞれから 1 名の研究代表者 (申請代表者) が必要。代表者は大学で雇用された者であること。博士課程学生を代表者とすることはできない (共同研究者としての参画は可能)。
- ・少なくとも上記 Global Challenges のいずれか 1 つと関連したプロジェクトであること。
- ・助成金: 少なくとも 12 件のプロジェクトが助成対象として採択予定。採択された各プロジェクトには、最大 138,300 スウェーデンクローナがスウェーデン側代表者に、最大 250,000 日本円が日本側代表者に助成される。
- ・使途: 助成金は、プロジェクトの目標達成に必要となるワークショップ、セミナー、会議、パイロットスタディ (予備調査)、給与、旅費等に使用できる。
- ・申請方法: 申請書 (所定様式) と各申請者の履歴書 (CV) を 1 つの PDF にまとめ、MIRAI スウェーデン側幹事大学であるウメオ大学 (mirai@umu.se) へ提出。
- ・募集締切: 2025 年 2 月 28 日 (金)
- ・結果通知: 2025 年 3 月 20 日 (木祝) 頃を予定。
- ・プロジェクト期間・報告書: プロジェクトは 2025 年 12 月 31 日までに完了し、同日までに報告書を提出する必要がある。

3. 学内問合せ先

- ・国際部国際企画課国際連携係 (佐渡島・赤塚) intlsenryaku@jimu.kyushu-u.ac.jp
TEL: 092-802-2206, 2297
- ・ストックホルム・リエゾンオフィス (坂田) intleurope@jimu.kyushu-u.ac.jp